

フィリピーナ（人間解釈学入門）

舌足らずな発音で妖しい呪文を唱えられれば、あなたはもう彼女から逃げられません。しかし、以下の文章を読むことで、あなたの命をほんの少しだけ永らえさせることができるかもしれません。ただし、隠された彼女たちの秘密を知ることが、必ずしも幸せな世界と結びつくとは限らないのが世の常でしょう。

○あいたいよ（会いたいよ）

ポピュラーすぎる表現ですが、今更と言うことはできません。根柢に深い奥義が隠されている代表的な魔術の言葉です。攻守ともにバランスが取れ、相手に対する半永久的な効果が継続します。『特に、明らかな嘘や不都合な話を好転させる』ためには絶大な効果があります。もんだいある（問題ある）と対をなす上手い言い回しでしょう。『それって *sinungaling*（うそ）じゃないの？』『違ふよ、だって会いたいよ』と言われれば、巫山戯ないでよ、誤魔化すにも程があるよ！と切り返せる人は少ないでしょう。この呪文めいた言葉の本来の意味は、『あなたのお金に会いたいよ』だと述べるフィリピーナ研究者も少なくありません。

○ ako（アコ）こころいたいだから（私は心が痛い）

本来なら心痛いから何々だと続くはずですが。そう考えれば、すでに呪文としての効果は失われているといえましょう。但しこの表現を耳にした後、『何が心痛いのだろうか』と、一瞬でもこちらの空白部分に忍び込み、その後、言葉それ自体で様々の効果を及ぼすとはいえましょう。『病院の精神科で診察してもらったら』と冷たい応答をすれば、相手はどう感じるでしょうか？人と人は支えあい、心で付き合うものだから、いつの間にかそんな事さえ我々日本人は忘れてしまったのだと反省し、これからはいい人になって少しでも人のために尽くすのだなんて考えるのは頂けません。

○アコにほんじんだから（私は日本人のようだ）

これを聞いた者の反応は『思わず笑い出す』か『まさしくその

通り』と思うかの二通りでしょう。さらに『うちの嫁はフィリピーナにもかかわらず誰よりも早く起き、毎朝立派にごはんを作ってくれると、お姑さんに言われた』などと言い始めると、危険地帯レッドゾーン突入のサインと解釈できるでしょう。一種の昂奮トランス状態なのですから、他者がそこに割り込み独り言を中止させることは不可能になるでしょう。聞き手の受容レベルが低いと、こちら側の息の根が止まる場合がありますから、特別な注意が必要になります。彼女たちのダンスや踊りには、元々、魔術や呪文との密接な関係が認められており、『バハイ（お家）のダイニングでディスコタイム』を毎朝行うことも珍しくありません。肉体の基礎的訓練は何もバレリーナだけの独占物ではなく、歌と踊りと呪文には精神の高揚という最高の附随物があるのですから、『踊らない日本人』にはこの間の微妙な精髓が理解できないでしょう。

○あなたつめたいなあ（あなたは冷たい）

我々日本人の行動や言動に対して、彼女の意にそぐわないことを示す表現です。何？冷たいのはそちらでしょう？と言ってはいけません。間違いなくあなたは愛されているのです。いつも一緒にいて、あなたに常に想っていてもらいたいと言っているのです。どうしてでんわない（どうして連絡ない）等とセットで使われることが多いでしょう。冷たさは、心寂しい折りに、人であれば当然の如くこの世界から受け取る感情の琴線なのです。

○アンダーウェアのふれぜんと（下着のプレゼント）

恋人であることを確認させるための表現として、日本人男性の官能的世界をくすぐる効果があります。買うものによっては金銭的にも意外に高価な場合がありますから、なかなか侮る訳にはいきません。プレゼントされた下着の姿を相手に想像させる所から始まるのですから、当然その最終状況も想像イメージに含まれます。だから大抵『はずかしいよ』と内気な振る舞いを見せますが、どれがあう、これがにあう（これが似合う）、これがセクシー（これがセクシー）と、たっぷり時間をかけながら想像的世界を楽しむ点こそ、卓越した伎倆と単に割り切ることのできぬフィリピー

ナの美点と考えましょう。最近の研究によれば、下着を買わせても見せない、脱がせない、何もさせないままに時間が経過などという、それこそ太古から延々と続く駆け引きに長けた新種美人が確認されつつあるようです。

○あんなつめたいひとはない（あんな冷たい人はいない）

これは間接話法に近い表現ですが、結構意味深い所のあるものかもしれません。タレントさん同士は、お互い表面的に仲良く見えても本当の友達じゃない事があります。勿論お店により例外があるでしょうが、嫌いあっている人の方が多い様に見えます。さらに、あいつだけは許さない系の敵を攻撃する時、頻繁に使用されます。我々に直接の被害はなさそうですが、そんなことを聞かされても困ります。ところがまともに受け取ると、日本からさよならの時に、二人はお互い抱き合っていたりするのですから、目も当てられません。つまり簡単に述べれば、気持ちは誰でも日々変わるものだということです。時代は変遷すると言う人は少なくありませんが、変わるのは寧ろ人の心なのですから、冷たさが暖かさの反対概念かどうか、よく検討すべきなのかもしれません。

○いっしょにかえるか（一緒に帰るか）

何時でも使用可能な表現ですが、日本からさよならする前には効果がアップすると言われています。『使用者側のフィリピーナと受け手側の日本人男性の見解が異なる』不思議な魔術であり、最悪の場合、聞かされた者は命も失う可能性があります。

『日本から帰ると、みんなでパーティをするでしょう。恋人がいないときはネ。でも恋人がいれば二人で過ごすよ』なんて会話をまともに受け、彼女に飛行機同伴、帰国先は勿論フィリピンの片田舎。パーティ費用、家族へのお土産の追加など、その他思いもしなかった出費は嵩み、予想とは裏腹に期待する物も手に入らず、二度と立ち直れなくなるほどの痛手を受け寂しく一人帰国。聞いた話ですが、フィリピーナは帰りの空港で、わざわざ見送りに来た善良なお相手も含め、それまでのお得意さんすべての客の顔を、綺麗さっぱり忘れ去るらしいということです。

○いまさらやめられるか（今更止められるか）

いっぱいいっぱいお金を使った日本人が、ロウるさく使用する痛々しい言い回し。但し効果はほとんど期待できません。つまり誰もが、もう決してあそこには行かないと言いつつ、今日もやはりワンセットだけとは、よく耳にする話。同レベルに、おれはとくべつだから（俺は特別だから）がある。『フィリピンのあいつの家に俺の表札を付けなければ気がすまない』という結婚願望に近い、独人勝手妄想の悲惨な世界があります。

○うそつきしかいない（嘘つきしかいない）

『あなたが悪い夢をみているので、かの国には嘘つきと泥棒しかいません』と、狂った精神を正常にもどす薬草の効果をもたらす表現ですが、それでもフィリピン人女性と結婚したいのなら、次の三つの条件に当てはまる人を探し出して下さい。

①父親がちゃんと普通の仕事をしている

②兄弟・姉妹は間違いなく三人程度

③少なくともハイスクールを出て大学・専門学校に入学した人

これは某サリサリのマスターに教えてもらった判定基準ですが、残念ながらこの条件を満たしているフィリピーナを知っている人は、誰もいないようです。

○えっぐぱい ko こ（エッグパイ コ＝私のエッグパイ）

エッグパイとは卵（パイ生地になりこむ？ゆで卵が入っている？スクランブルエッグ状のものが上に乗っている？形が卵そっくり？）パイのことらしい。フィリピンではポピュラーなもののようです。現物を見たことはありませんが、すこし前に冷凍のパッケージを確認しました。『私はエッグパイが大好き。あなたのことも大好き。だからあなたはエッグパイ コ』。この表現の効果は『笑われる』か『一撃必殺で相手を昇天させる』かの何れかでしょう。ツボに嵌れば、『うちの子は』などと譫言めいた言葉を吐くようです。ハニーとか mahal マハルはよく聞きますが、さすがにこのエッグパイは初耳で

す。しかし、呼び名には余り特別な意味がないことも自明ですから、固執するには及びますまい。愛称で呼び合うのは日本人に似合わないと切って捨てる人もいますが、古式ゆかしい日本男子を演じても直ぐには通用しないでしょう。以前、たまたま横目で見た彼女の携帯に **asawa** アサワ(配偶者) と登録名があったので、『なんだ、結婚してるの』と尋ねると『ちがうよ。お客さんがこう呼べと言ったので呼んでるだけ』とたいへん微妙な答えが帰ってきましたが、真相は当然ながら闇の中。どちらにしろ、まあ、そんなものでしょう。また似て非なるものですが『あなたをハニーと他の女が呼んでいた。あの女と一緒に嫌。だから私だけあなたをマハルと呼ぶ。いいでしょう』があります。これは『自慢げに話す友達をなくす』ことになりますから、自分の胸に封印しておきましょう。

○おかねならはらいます、いえはらわさせてください

(お金なら払います、支払いさせて下さい)

同伴は何ポイント、延長は何ポイント、**ako** アコのターゲットは何ポイント。だってターゲットに届けばボーナスある。それはそれぞれお店のシステムですから、本来、我々お客さんには関係ないはずです。目標のターゲットまであと二ポイント足りない。もったいないでしょ、ヘルプお願いと連絡あり。嬉しさの余り出かけて見れば、彼女の指名客がたくさんいました。こんなことはしょっちゅうあることです。なかにはご丁寧にも『今回のターゲットは何ポイント?』と聞き質し、自ら協力。『彼女は頑張っているんだから目標を達成させてあげたい』と間違った道を進んでいる人も少なくありません。これを日本語では『愚の骨頂』と表現します。ただし、彼女が獲得したボーナスを取り上げたりすれば『漁夫の利』とはなるでしょう。しかし、その前に所持金の大半をいかれることも起こりえます。ちなみにボーナスとは別ですが、彼女と一緒に出かけ、獲得できたスロットの勝ち金やオートレースの当たり券を自分のものにする日本人魔術師もいます。『結婚届と引き換え』になることもありますから、感情のもつれによって刺身庖丁で刺されることのないよう気をつけましょう。

○おれはとくべつだから（俺は特別だから）

彼女は俺にだけはホントの事を言う。相談事は俺にしか出来ない。俺と会う時は平気でお店のルールを破る。こういう思いこみとしか見えぬ長い潜伏期間を経て、立派な傾倒人間になれるひとは実に幸せ者です。この魔術を自分自身にかけ始めると『人のアドバイスを聞けなくなる』孤立無援の恐れが突然発生します。でもある意味では特別な人になってしまっているので、言葉の真の意味合いで、彼は決して間違っていないでしょう。同レベルの表現として、いまさらやめられるか（今更止められるか）があり、同義語に『彼女は普通のフィリピーナとは違う』と『普通のフィリピーナって何だ』と切り返す応答があります。自分たちだけの特別な愛称で呼び合うようになれば、これもやはり同カテゴリーで、幸か不幸か、二人は特別な限定された世界を呼吸することになります。

○きょうはアニバーサリーだから（今日は記念日だから）

初めての同伴、初めて彼女を指名した日に使用される表現です。当然ですが『普段より多めのお金の散財』となります。そこで小道具として活躍するのは、ビールやワインにフルーツ、ホッケにイカのするめやケーキ等々があり、断りなく勝手にオーダーされ続けると、場合によってはクレジットカードに登場願わなくてはなりません。彼女はお金を攻撃しながら、あなたを魔術の世界へ誘ってくれるのです。追加事項で注文をつけたくなることですが、自分で飲んだり食べたりするのは結構だが、他人の席にまで大盤振る舞いはよしてくれと、大声で叫び出したくなったことはありませんか？また自分の指名席全員にホッケを出す必要はあるのでしょうか？

○きょうはたんじょうびでしょう（今日は誕生日でしょう）

彼女の帰国中に彼のバースディがある。当然会うことはできないけれど、その日は誰よりも早く彼の声を聞きたい。私はシンガーなので彼にバースディソングもプレゼントしたい。きっと彼も

喜んでくれる。今年の俺の誕生日、彼女はちょうど帰国している。自分へのプレゼントはどこで祝おうか。フィリピンパブで新しいフィリピーナとの出会いがあるかも。大いに楽しみだな。こういう期待のうちに迎えるバースディ（誕生日）の前日。夜の 12 時、鳴り響く電話のコール音。もしもしの後、いきなり歌い出す歌姫の彼女。まるで自分一人のためのリサイタル。『ハッピー バースディ トウ ユー』何が起きているのか一瞬、理解不能な彼。雑音と共に歌らしいものが聞こえるが、これは新手の勧誘じゃないのか。でも電話を切ってはいけない気がする。この奇妙な魔術は『paru-paro パロパロ（浮気）判定』と『パロパロ阻止』を目的に唱えられているのです。ある種の『満足感』はあるでしょう。でも『その日はとても眠い』ので早くベッドに潜り込むことになるでしょう。ただし、上記とは立場が逆の場合を考えてみましょう。注意が必要です。そのとき彼女は電話に出ることはありません。従って感情的には、これで終わりのパターンに成るやもしれません。また、その瞬間から偶にあったツキが落ち、何をしても駄目だという事例も目撃されています。呪いのわら人形をご存知でしょうか？金鎚と釘が登場しますが、世界ではなく人間がターゲットに成ります。

○きょうは六万やられたよ（今日は六万円やられたよ）

正確な日本語で発音される呪文めいた言葉で、呪詛と言っても良いでしょう。周囲の者たちを怖じ気づかせ、びびらす効果があります。来日は二回目なのに、もう 10 年以上日本滞在のキャリアをお持ちです。日本人の旦那とはとうに離婚し、独身生活を満喫中かどうかは不明ですが、仕事前のパチンコ通い（物語上手な女性）でやられた時、悔しげに述べられた表現です。何故か田舎村の長、もしくはマダムと呼ばれ、かなり剛の男性でも太刀打ち不可能の逸材です。さらに、レベルアップすると競輪、競馬、競艇にオートレースと行き着く先はあちらこちらに存在します。移動のためには軽快な走りの車が必要です。明日に望みを賭ける点では普通のフィリピーナと何等変わりはありません。しかし宝くじに賭けるのと基本的には同等の感覚です。当選確率 500 分の 1、1000

分の1などどいうとんでもない数字に誰が寄りかけられるでしょうか。『こんなもん当たるはずねえ』と泣く泣くつき合いながら、ご本人が負ければその場は大変、肩代わりの辛い憂き目に遭うかもしれません。脳天に痛恨の一撃で昇天ではお粗末すぎます。本日の冒険終了となりますから、彼女の呪文詠唱が始まれば上手い具合に逃げ出す方法を考えましょう。ところでこれは何の関係もないことですが、知り合いの結婚パーティで日本人側の幹事を勤めさせて頂きました。そのとき『ご苦労様、さすがね』と言われました。褒められれば悪い気はしないのは不思議です。

○けいたいかつとだって（携帯電話をカットだって）

携帯電話での連絡を絶つ、つまり男性がプレゼントした携帯電話の契約を勝手に解除し、通話不能にすること。フィリピーナ所持の携帯電話、その入手経路は様々だろうが、お客さんからもらう率は結構高いようだ。『おれとほんとの恋人になるため』携帯電話をプレゼント、しかし呼べども届かず。『さよなら、私の費やした時間とお金』。この経験者たる日本人によれば、月々の支払いはバカにできない額らしい。高いお金を払いながら、何故そんなプレゼントをと聞けば、彼女の相手の連絡先を知りたいとのこと。では『知ってどうする』と聞いても、明確な答えが返ってくることはあり得ないでしょう。プレゼントに意味を込めても、一方的な傾倒が相手に通じるかどうか、ストーカーまがいに见られるかも。もっと詳しい調査が求められるでしょう。

○こいびとはまじめがいいでしょう

（恋人は真面目が良いでしょう）

フィリピーナのガード率は結構高い。『意味としては不明だが何となくわかるような』効果がある。別れ際のキス攻撃をかわしながら、それ以上の進展を阻む戦略的表現でもある。私は真面目だから、ベッドインは結婚する人とだけの意味合いもある。私はフィリピンパブの仕事に向かない。本当は工場で働きたいと、ライトアップされた真正面のステージをしっかりと見つめながら彼女は断言した。同レベルの表現に、こんどきたときにネ（今度来たと

きにネ)がある。

○こどもじゃないだから (子供ではないです)

気合とともにすさまじい風圧を起こし、かまいたち現象 (ちょっとした拍子に、皮膚に鎌で切ったような切り傷ができる現象)が生じることもしばしばです。この言葉を受け取って躊躇ける所をすかさず、じゅんびできてる (準備は出来てる) と彼女の奥義が炸裂し、トドメを刺されることになります。こどもじゃないだから、わたしをあげるよ、ホテルでもどこでも行くよ、じゅんびできてる。そう言われて、嬉しい場合と迷惑な場合があるとしても、向き合う現在の瞬間的価値は、簡単に再体験できないものの故に、怖じ気づいての敵前逃亡は人生の深刻な意味から遠のくことになります。どちらにしても、真っ二つにされてからでは遅すぎです等と述べるのは、もう止めにしましょう。

○これはおねがいとちがう (これはお願いしていたものと違う)

このレベルになるとただのわがままになる。何をしても何を言っても反抗できない効果を持つ。『プラチナではなくゴールドが良い』『このデザインの時計ではない』『毛蟹ではなく越前蟹と言ったでしょ』等バリエーションが多く、使用は日本人化したフィリピーナしか使えないとされているので、日本語教室で伝授されるらしい。

○これはふたりのテーマきょくネ (これは二人のテーマ曲ネ)

ラブソングが選ばれる。一度テーマ曲が決まると、ワンパターンと言われるまで歌い続ける。歌声で船乗りを遭難させたという魔術の現代版。二人のテーマ曲を違うお客さんが歌うと、何故か非難される。たまにフリーのお客さんが歌うと、店のタレントがいっせいにこちらを向きニヤニヤと笑う。OPM(original philipine music)好きの人は特に注意が必要。

○こんどきたときにネ (今度来たときにネ)

帰国のさよならも近づくと、今までの投資を回収しようと『今

度同伴、ホテルOKか』『好きだといったでしょう。思い出に体くれ』と迫るお客さん対応の上手い言い逃れ。当然ながら帰国後の日本への再入国がいつになるのか、本人にもわからない。

○しらないのはあのひとだけ（知らないのはあの人だけ）

『あのお客さん、毎日、毎日同伴しているけれど、彼女には子どもどころかアサワ(asawa)がフィリピンにいるのよ』『お店の人はみんな知っていて、知らないのはあのお客さんだけ』もしや自分もそうなのかなと思うか、へーあのお客さんカワイーと思うかは各自にお任せしましょう。

○しんせきではない（親戚ではない）

『彼女とは親戚なの』と教えられる。フィリピーナはさぞかし親戚も多いだろうなと思い、結構信じてきました。ところがですよ、本当はぜんぜん関係ないってことがすごく多いのです。効果は不明ですが、意味のないうそってやつです。ときどき言われる意味不明のうそ。かわいくもあり、バカバカしくもありますが、人によっては悪意の塊である場合も少なくありません。ですからやはり注意が必要なのです。

○たんじょうびパーティがあるよ、だいじょうぶ

（誕生日パーティがあるよ、大丈夫）

今日はお姉さん、明日はお姉さんの旦那さん、明後日は誰々の子供、何時何時はお母さんと、毎日が誕生日パーティ開催日。『あなたは私の恋人なのだから出るのが当たり前』と迫られる。パーティは基本的に開催者負担でしょうが、日本人が支払う事が多いのは何故でしょう。その都度、同伴出勤がセットなのも財布からの出費を大きなものにしてしまいます。

○でんわちょうだい（電話ちょうだい）

お店からの帰り際、ささやくように唱えられる。『やっぱり俺がいないと寂しいのか、よしよし』と、結果的に自己満足の大混乱を引き起こすことになります。実際に連絡を入れると、電話に出

ないこともしばしばあります。自分のワンキリ、コールバックちょうだいには応じないというさいののですが。ごく稀に勘違いから『フィリピンの自宅に本当に電話を設置してやる、もしくは外国でも使用できる携帯電話を買い与える』人もいます。

○ どうしてでんわない（どうして連絡しない）

連絡を怠るとよく聞かされる文句です。ただし効果が長引き、あなたは冷たいとセットになっています。ワンキリ後のコールバックをしないからというだけで、そんなこと言われる筋合いじゃないと返答できれば、上級者に格付けされましょう。ワランペラ (walang pera) だけど電話ぐらい持ってるよと、一段ランク上等の応答をすればタガログ勉強組に組み込まれるでしょう。責任は負えませんが、将来の当たり籤を願ってワンランク上を狙いましょう。

○ 2 じかんだけ（二時間だけ）

一日は 24 時間ですよネ。どんな人でもそうですよネ。時間を使うのがうまい人もいればへたな人もいますが、一人に与えられた時間は 24 時間ですよネ。24 時間を分ければ、寝ている時間と起きている時間ですよネ。さらに分けると、一人でいる時間とみんなでいる時間ですよネ。一人でいる時間って大切ですよネ。いいですよネ、ここまで間違っていないですよネ。

『あなたは旦那さんといつも一緒だけど一人の時間は必要ないの』

『う～ん、もちろん欲しいかな』

『それは、一日ではどれくらいの時間』

『そう、二時間ね』

『それだけ』

『それ以上はいや』

『いつも一緒にいたいから結婚したのでしょうか』

『あたりまえよ』

『日本人は結婚してても一人の時間が必要だけど』

『パルパロするからそれはダメ』

○にほんごのうたきんし（日本語の曲を歌うのは禁止）

OPM（オリジナル フィリピン ミュージック）には結構素晴らしいものが多いし、歌のうまい人がプロ、アマともに多い。

『調子に乗りつつ、覚えては歌うを繰り返し、チャホヤされたり、キャッキャッ言われる』経験の後、久しぶりに日本語の曲を歌ってみるが、『その曲はあなたに向いていない』と判定され、以後、日本語カラオケ本に触るのは御法度。こうなると、ワンパターンと言われるのが嫌だと次々に新曲を仕入れ、あげくの果てには日本語曲のタガログバージョンに手を出すようになる。自分しか歌えない曲で『天下取った』気分のステップアップ効果は味わえるが、松明が燃え尽きる長さ程しか継続しない。歌がうまい人がいれば他方へたな人がいるのも世の常だが、フィリピーナには底抜けの音痴がいることもあり、安易にデュエットなんてすると三半規管をやられる。怒り心頭に発してマイク、タンバリンをステージに叩きつける御仁もたまに散見される。

○フィリピーナはみんないしあたま

（フィリピーナは硬い頭をしている？）

発端は友人との会話だが、勘違いも良いところ。友人に余りにも自信たっぷりに言い切られ、信じてしまったのが浅はかでした。ベッドで腕枕をしている時、たまに当たる彼女の頭の硬さ。常々そう感じていて、ある時 headbutt（ヘッドバット頭突き）したら、こちらの目から花火が散ったと言ったところ、今まで知らなかったのかと驚かれた。そんなことは常識だとも言われ、本に書かれている（どんな本？）とも。口惜しくて違う友人に同じことを伝えたところ、早速、彼は自分の彼女にトライした。『わっはっは。奴こさん、ソファで蹲ったまましばらく起き上がれなかった。気持ち良かった』『今じゃヘッドバットの真似だけで、彼女は謝るようになったよ』私の周囲の人間は、このようなバカと言える者ばかりです！

○まえのせきにはおばけがすわっているよ

(前の席にはおばけが座っているよ)

ファミレスに二人で入店するも、何故か彼女はボックス席の隣りに座る。前の席にはおばけがいるので、隣に座りますとのこと。何度もやられると、こちらは『恥ずかしさを忘れてしまう』。余談だが、フィリピーナ出現率の多いファミレスでは箸を置かぬ所もあると聞く。

○またひとつなくした

(また一つ<大事な思い出を>なくした)

誰にも一つ位は大切な恋愛の思い出があるものです。彼女と恋をしていた頃が自分の一番輝いていた時機だと、遠い目で振り返るものです。青春なんて言葉も出てきます。大抵、思い出の場所や忘れられない曲がセットになっている。ところが、『今度のお店はどこどこ。来れるでしょう』が思い出の場所に連結。帰国記念同伴の約束をし、少し早めに現地について、思い出巡りに勤しむ。

『そう、ここでよく待ち合わせをしたっけ。彼女が来るまでドキドキしたな』『あっ、この店まだある。お茶を飲むだけなのに、入ろうと誘うのをためらったりして』『ずっと一緒にいたいと、この道を歩きながら何度心の中で叫んだことか』などと、うっとりするもつかの間、数時間後、別の世界を冒険して傷つき、宿屋へと体力回復に戻ります。ベットに横たわり、ユーミンなどを聞きながら、またひとつなくした（また一つ<大切な思い出を>なくした）と悲しげに一人呟く。

○まだいわない（まだ告白ない）

お客さんに散々奢らせたり、物を買わせたりしているフィリピーナは、男たちをはっきりと見透かしています。結婚してくれ！返事をくれ！今日ではっきりさせる！と思っている男たちの心を。あなたがそれらの言葉を言い出すかどうか、瞬間的判別が容易にできるのです。何故なのかと問えば、わからないほうが不思議という答えが帰ってきます。この感受性は女性に特有のもので、万国共通のようです。男たちはやはり鈍感なのでしょう。

○もどってきってからでまにあうよ（戻って来てからで間に合うよ）

フィリピンから日本に電話するのか？の問いに、恋人なら電話する。お客さんなら、日本に戻ってきても大丈夫との答え。それでも上客はコールバックで連絡を取るらしい。さらに『フィリピーナを追いかけて、フィリピンまで行く日本人を観光客として扱い、ガイド料を請求する』女性強者も存在するようです。

○もんだいある（問題ある）

問題とはお金であり、全ての発端は貧乏に由来します。あいたいよ（会いたいよ）と対をなす基本的表現なのに奥義は深い。聞かされた方は『それ位の額ならば』と、ラビリンス（迷宮）に自ら足を踏み入れることになります。しかし本当の元凶は多分、コストパフォーマンスを上げ続けている一握りの金持ちと、日本政府のODA (official development assistance) 政策なのかもしれません。

『おみやげ買えない。もんだいでしょう』『もんだいあるよ、パッケージのお金ない。ヘルプして』は応用的表現と考えていいでしょう。但し、どこどこのお店はシーフードヌードルが五円安いなどといった情報を手に入れることもできます。これと直接の関係はありませんが、以前ある人が『日本は未だ士農工商の身分制度の国だ』と言っていました。西洋的階級社会の厳しい現実を経験することのない日本人は、本当に幸せなのでしょうか？

○やきにくがいい（焼肉が良い）

同伴で食事のとき、何がよいかと聞けば大抵、焼肉と答えが帰ってくる。『高カロリー』でも『だっていちばんおいしい』かららしい。毎日同伴している売れっ子は『ほんとはもうあきた』『でも他のレストラン知らない』『ほんとはフィリピン料理がすき』と思っている。やれフレンチだ、イタリアンだと強がらないことが彼女たちの魅力でもある。ただし、何でもいいんだとはいえ、駅ロータリーで夜空を見ながらモスバーガーを食するのは如何にも頂けません。これも関係ありませんが、その昔、誕生日だからと新宿ヒルトンの中華レストランで『ふかひれ』を二人前注文し、一

人で食べようとした日本人女性がいました。『朝から決めていた』が彼女の驚くべき言い訳でした。

○やめときなさい（止めときなさい）

今まで指名していたフィリピーナが帰国。さあ、次だ次。今まで間違っていた。今度こそ本当の恋人を見つけるぞ。で、それとなくその旨を伝えた時に炸裂した言葉。流暢な日本語ほど効果は高い。こちらが選ぶ立場と思っているあなた方は間違っています。私たちはお客さんとして選ばれる側なのです。

○らんうえい（ランナウエイ）

いわずと知れた『とんずら』のことですが、すごいったらありません。来日わずか二回目で、新幹線に乗って九州から東京まで。漢字読めません。土地勘ありません。知り合いこれから見つけます。私どもにはとても真似できません。さよならパーティの後、バハイから空港に行くまでにドロソ。『あの子、日本人の恋人いたよ。あんまりいい人ではなかったけど、愛していたのネ』『あさって、初めてのショータイム。かならず来て。愛してる』の電話。二日後のショータイムに彼女は出てません。だって電話した後、荷物もなく、本人も居ないのですから。ひょっとして、あなたの家にらんうえい（ランナウエイ）したいよと言われたときに、あなた方男性はどの様に対処なさるでしょうか？

○わたしたちはいつけっこんする（私たちは何時結婚する）

お店の中でしばしば発せられるものの、二人が外で会っている時は、不思議な位この表現は使用されません。『あれ？もしかして自分は愛されていたのか？』と勘違いし、バランス感覚とお金を失う羽目になることは間違いありません。同じ言葉を日本人男性が使用する場合、使用者はピュアーな心の持ち主か、たちの悪い輩のいずれかでしょう。もっともこれを頻繁に使うフィリピーナ（フィリピン男性）は本当にたちが悪いのでしょうか？

○わたしのおかねじゃない（私のお金じゃない）

来店するたびにソクソクを要求するお客さん。『君はサラリーいくらもらってるの。けっして充分ではないでしょう。お小遣いあげるよ』といって財布の中身を見せる。見せるぐらいだから当然大枚のお札がいっぱい納まっている。『でも、私、断ったよ。あたり前でしょう。好きでもないのに出来ないよ』『それに、いくらいっぱいお金を見せられても私のお金じゃない』えらい。『ときどきこんな姿勢をみせられるから、なかなか（フィリピンパブから）抜けられない』この店は持ち帰りは出来ないのか、金さえ払えばいいだろうという人は、確かにいます。日本人はみんなスケベ。同伴するとすぐホテルへ連れて行こうとする。言われるたび日本人として恥ずかしい思いをしていました。日本人女性でも痴漢にいたずらされた経験率がたいへん高いということです。あなたの勘違いも少しは・・・いえ、まじめな話、反省すべきです。でもね、お酒を出すお店で、女の子がいる場所なので。いえ、やっぱり、反省します。

○わんせっとだけ（ワンセットだけ）

だいたいフィリピンパブはフリーのワンセットは安いと相場が決まっている。看板にも低料金の表示がある。ただし、あくまでフリーのお客さんと判っているが、いそいそ出かけてしまう。フィリピーナが唱える場合と日本人が唱える場合があるが、結果はどちらも『やっぱり延長』。最近、今日は二万円でもよかったとか、三万円でおつりがきてラッキー等ととんでもない会話も少なくなりました。他は知りませんが、私の村はワランペラ（貧乏人）しかいなくなりました。でも、ウータン（借金）はいっぱいです。あと一部地域の一部のお店には『座ってン万円』の所があります。ただし、ショーは豪華だし、タレントさんはほんとに才能ありそうなタレントさん。しかも連日連夜通っているお客様もおられるとか。一緒に行きましょうと誘ってもらったことがあるのですが、行けませんでした。